

## IR・SD 推進本部が実施している教学 IR の主な内容・改善事例

IR・SD 推進本部において調査分析した学修成果、学生アンケート等については、関連する委員会や大学方針を決定する会議体へ報告を行い、各部門における状況把握・改善検討に活用している。

主な分析事例、改善事例は以下のとおりである（過年度実績を含む）。

### 1. 主な調査・分析内容

#### 1) 学修成果・教育成果関連調査

- ・学年ごと、DP ごとの GPA 分布状況、平均点分布、修得単位数等の把握・分析
- ・教育の質向上委員会等が実施する卒業時到達目標アンケート、卒業生アンケート、教員対象カリキュラム評価アンケート結果等の分析支援
- ・入試区分ごと、面接結果ごとの入学後成績、国家試験合否状況、学籍異動等の調査・分析
- ・特待奨学制度対象者の学修成果
- ・国家試験結果分析（合否結果と各学年次の成績、模試、入試区分等との関連性分析）

#### 2) 学修行動調査

学生の学修時間や学修への意欲等の調査・分析

#### 3) 授業評価アンケート結果

教育の質向上委員会が実施する授業評価アンケート結果の分析

（上記委員会における集計、改善に向けた取組の他、全体傾向を分析し、教職員、学生に周知）

#### 4) 学生満足度調査

教育内容・教育方法、学修支援、図書館、施設関係等に関する学生満足度を調査・分析（結果を基に、各種委員会において対応・改善策を検討し、学生へ開示）

#### 5) 入学時アンケート、入学時テスト結果

本学の志望度、満足度、看護職への意欲等、並びに入学時テスト結果の分析

※主な分析結果については、本学ホームページの情報公開・認証評価のページ（Ⅲ その他の情報公開（6）学修に関する情報、（7）卒業生アンケート・就職先）にて公開

<https://www.st-mary.ac.jp/disclosure/>

## 2. 主な改善事例（過年度事例含む）

- ・学修行動調査（課題重複時の対応困難さ）、学生満足度調査の結果を受け、多重課題とまらないよう、課題提示状況一覧の作成と学内教員における情報共有を企画、また、コロナ禍、図書館利用に関する調査結果が低下することも予想され、図書館において、学外からの文献へのアクセス可能なシステムを開始。
- ・学生満足度調査結果、学修行動調査、国試結果分析等（低学年からの就職・進学支援の希望、学修時間の学生間差、自己学修時間の減少傾向、国試結果と学内・模試成績関連分析等）を受け、低学年からのキャリアガイダンス（看護専門職になるための今後の学修への動機付けを含む）、低学年からの学生の主体性を踏まえた学修支援の方法・内容の検討・継続。
- ・学生満足度調査結果における学修環境整備への意見を踏まえ、パソコン室パソコンのスペック向上、講義室 AV 機器（プロジェクター、スクリーン等）性能向上、授業時長時間着席できる椅子クッションの整備、また学生同士が教え合いながら学修できる環境（場所）への要望に対しては、会話しながらの学修が可能な学生ラウンジ開放を再開。  
なお、学生満足度調査結果に関しては、学生からの意見を踏まえて大学（各委員会等）からの学生への対応回答を公表。
- ・授業評価アンケート結果を踏まえた個々の科目レベルの改善については、結果を受けて科目責任者が「考察と課題」を提出、公表可としている内容については、学生へ公表。
- ・入試区分別の学修成果（特定入試区分における入学後高リスク<学籍異動、国試合否状況等※詳細分析結果は学外非公表>）を踏まえた、当該入試区分定数の見直し。
- ・DP ごと GPA 等に基づく、課題解決に向けた検討チームの設定検討